

令和5年度 大阪府立狭山高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和6年2月7日(水)15時30分～16時45分

2. 場 所 本校2階 社会科教室

3. 学校協議会委員一覧

湯峯 裕	桃山学院教育大学 教授
堀内 一憲	大阪狭山市狭山中学校 校長
染川 佳紀	立志館ゼミナール
小松 茂美	大阪狭山市立公民館
トランティ美佳	大阪府国際交流財団
池田 正美	狭山高校PTA 会長 (敬称略・順不同)

・学校側出席者

松永 淳子(校長)	井迫洋一郎(教頭)	野中 輝己(事務長)
池田 輝政(首席兼1年学年主任)	大西 弘記(首席)	
小林 友宏(3年学年主任)	浦上武次郎(2年学年主任)	
岡本 宏之(教務部部长)	影山 孝雄(進路指導部部长)欠席	
松村 毅(生徒指導部部长)	古川 尚幸(生徒会部部长)	
船坂 寛之(保健部部长)	磯田 圭子(人権教育推進委員長)	

* 自己診断報告

・結果数値は改善傾向であると分析している(首席)

・教員のアンケート肯定的回答部分が多く、良い職場環境であり素敵だと思う(委員)

・2021年からの肯定的な数値の向上が著しい理由は?(委員)

→生徒への一人一台端末の配付と教員のデジタル教材の活用が大きく増えている。今年は全ての教室に GIGA ハイスクール構想事業で設置された電子黒板式プロジェクターが入り、教員の授業における創意工夫が高まっている。(首席)

・相談体制、行事に対する数値の伸長も目立っている、コロナ以降のことも理由があるのか?(委員)

→コロナで行事を変更したのは体育祭のみ。その他の行事については内容を一部変更しながらも実施している。行事させたいという教員の思いが強く表れている。(首席)

・生徒アンケートの行事の項目についても良い傾向が表れている(委員)

・教員アンケートにある進路に対する意見について、進路決定の2極化が進む中でどのような施策をおこなっているのか?(委員)

→学年指導による進路指導ではなく、分掌が3年間計画を立てて、学年ごとの違いがでないように実践している。詳細なものを見やすくする進路メソッドを作成、教員への理解を深めた。どのような指導をすべきかを学年ごとの年間カレンダーを作成、共有し効果が表れていると考える。(首

席)

・進路指導部の試みは素晴らしいと考える、「どこでもいいから決めたい」という生徒の進路希望に対してどのような目標を考えたのか？今後のプランを教えてください。(委員)

→生徒は早く進路を決めたい傾向がある。指定校が全体の4割になる。一般に向けての生徒に対して良い影響ではないという感がある。第一志望の学校に挑戦できる環境を作っていきたい。(首席)

・塾としても推薦はなくしてもらえたらと考える。大学受験の多様化の中で早期決定の課題を感じている、打開するのは難しいけれど頑張してほしい。(委員)

・生徒のアンケートにおいて、塾の必要性を感じている点についての考察は？生徒が塾に行くことに対して気になるのか、それは仕方ないことなのか？(委員)

→学校説明会で進路決定した生徒にインタビューしたところ、1、2年のころはほとんど塾へは行っていない。部活動引退後、理系は少数、一方文系は相当数通っている。特定科目(英語、歴史系)の復習に利用しているようである。指定校で決定した生徒はほとんど塾へは行っていない。(首席)

・狭山が近年定員以上の志望がでていたのが(アンケートの肯定的な)結果の表れなのでは、河内長野英語スピーチコンテスト等の交流もありがたかった。コロナゆえにできなかったことが増える中で狭山高校の工夫の結果が出ているのではないかと、素晴らしいと思う(委員)

・1年生で塾に通っている生徒は、主に部活動後時間が遅く、教員になかなか質問できないため、質問のために塾に行くということも聞いている。(首席)

・教員アンケートにおける人権教育についての数値の伸長についてどう考えているのか？

→研修等取り組みの結果ではないか。ひとりひとりの教員意識の高まりがあるのでは。人権のみならず、教科ごとに色々取り組んでいる。例えば、家庭科の手話講座、国語の人権作文等、社会の公共でも学習を実践している。(人権委員長)

* 令和5年度学校経営計画評価令和及び6年度学校経営計画提案

・国際交流の復活は喜ばしい。(委員)→豪州交流は費用面で課題があり検討している。(校長)

・クリーンアクションの参加がすごい。(委員)

→毎月文化部を中心に参加している。12月のクリスマス清掃は運動部も参加してもらっている。狭山池祭りもそのつながりで参加している。(首席)

・また発表告知もしてほしい、狭山高校が地域の人を呼び込む施策もしてほしい。(委員)

・経営計画について、令和5年度を踏襲すること、一人一台端末配付もあるので、JICAでのオンライン出前講座や交流をしてもらえたらどうか。(委員)

→JICAには2年での交流でもお世話になっている。継続していきたい。(首席)

* 全体質疑応答

*1年 例年通りであるが、生徒が中心になっておこなうクラス行事を企画運営させる試みを実施している。また、コロナで中止していた耐寒登山を復活させて実施した。

*2年 もう一段階上げたいと考える生徒たちを奮い立たせるための考査期間前の講習や勉強会を実施している。修学旅行は冬の北海道でスキー実習をおこなった。修学旅行終了後は進路実現に向けて意識をシフトさせている。

*3年 卒業に向けて準備をおこなっている。一般入試の生徒たちを応援していきたい。

*進路実績は現在、指定校 4 年制大学 86 名、専門学校看護系 12 名、計 93 名約 40%が推薦で決定している。その他の入試結果として、国立大学1名、短期大学7名、4 年制大学 37 名、公務員 3 名が合格している。現在は残りの生徒は一般入試で頑張っている。

*生徒指導 現在懲戒1件(昨年3件)。年末年始に盗難事案が発生(7件)生徒に向けては自己管理の徹底を周知した。以降盗難の案件は起きていない。遅刻数は 700 件前後、増加傾向である。他校との傾向と併せて、コロナ以降も続く一般的な体調不良という理由が多い。難関校への進学が多い学校でも 3000 件を超える遅刻がある中で本校は落ち着いている印象がある。

*生徒会 行事を滞りなく実施できていることは大きい。文化祭も土日開催ができた。生徒の安全を確保しながら一般にも一部開放できた。次年度以降もこの形を維持したい。部活動加入率1年初めは 80%近く、2学期になると、69%に減少している。現在、顧問の割り振りに苦慮する状況、改善の検討をしていきたい。部活動加入率が下がると行事運営に影響が出る。新たな施策が必要。

*保健部 秋に校内の美化活動を実施、多くの生徒が参加してくれている。生徒の変化(体力低下や運動能力低下)があるのでは、近年怪我が多くなっている。中学ではどうなのか知りたい。授業で感じる事として、学力の低下を感じている。常識的と思っていたことができなくなっている。偏差値的には下がっていないと思うが、本校が低下していないか懸念している。

→体力的な点は気にしている。体育祭も熱中症を懸念して 10 月下旬になりつつある。小学校も体育祭は半日で終わるようになっていく。暑さ対策を講じる必要がある。(委員)

→学力については、近鉄沿線の高校がなくなりつつある中で、自転車通学が増えている。国の施策としてなんとかしなくてはいけないと感じる。(委員)

→狭山に入るレベルは下がっていない。小学校から詰め込み教育がなくなり、自分の興味のあるもの以外は取り入れなくなっている。学ばされない環境(雑学)にいる生徒は学力が上がっていないのではないかと考えている。(委員)

*人権 生徒は全体と学年で学習を実施している。色々思う気持ちをもつ生徒も多い中、それを発信していけたらと感じる。教員だけでなく地域保護者が育てていきたい。